

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年10月27日

計画の名称	野洲市中心市街地における流域一体となった総合的な浸水対策の推進、生活環境の改善と安心・安全の確保、災害に強いまちづくり（その2）【重点計画】												
計画の期間	平成30年度～平成32年度（3年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	野洲市												
計画の目標	下水道整備を行い快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	286	A	286	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画的成果目標（定量的指標）  定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		95	96	97
1	老朽化した既設汚水処理施設の下水処理場への統合等下水道処理人口普及率を95.1%(H30)から96.7%(H32)に向上 下水道の処理人口普及率 下水道を利用できる人口（人）/総人口(人)	95%	96%	97%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
下水道の処理人口普及率は、非重点計画と重点計画の合算値である。												



事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

野洲市みず事業所上下水道課

事後評価の実施時期

令和3年10月

公表の方法

市ホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

下水道処理人口普及率を95.1%から99.0%へ増加させることができた。

定量的指標以外の交付対象事業の  
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

今後も効果等検証しつつ、有効的に整備を促進する。

